

仙台YMCA

みつかる。つながる。よくなっていく。

No.340.2022




仙台青年

SENDAI YMCA NEWS

5

2022年5月20日発行

公益財団法人仙台YMCA
〒980-0822
仙台市青葉区立町9-7
Tel 022-222-7533
Fax 022-222-2952
www.sendai-ymca.org
発行人 / 村井伸夫
編集人 / 松島晃子



「10年目」 放課後等デイサービス

NPO法人
仙台YMCAファミリーセンター
YMCAみらい管理者 跡部絵美

新年度が始まり1ヶ月程たち、新入メンバーたちも新しい環境に慣れ始め、先輩メンバーたちが優しく教える姿が日々見られています。先日は、野菜作りの準備で土を耕し、みんな夢中になってミミズやダンゴムシを見つけ、「ミミズがいる畑は栄養があるんだよね」「そうなんだ！」という会話が聞こえてきました。

2013年5月に開所したYMCAみらいは、今月10年目を迎えました。開所当時小学1年だったメンバーは高校1年生となり、小さかったメンバーたちが声変わりし、気づけば身長を追い越されています。開所当初リーダーとの1対1での遊びを好み集団活動を苦手としていたメンバーが、今では仲間たちとトランプや缶蹴りを楽しむようになっていて、小学校や中学校生活よりも長く成長をみることができている喜びを感じています。

放課後等デイサービスYMCAみらい・YMCAきぼうは、障がいがあるお子さんや小集団での過ごしが適している小学生・高校生たちが通っています。

仙台市内外から、土曜日や長期休暇中には県外からもご参加頂いています。遠方からも通っていただいている理由の1つは、YMCAが大切にしている野外活動や体験活動ができることにあると思います。

(第2面に続く)



先日の面談でも、「YMCAの活動で行った場所が気に入って家族で行きました。」「YMCAで体験してきたことを家でもやってくれました。」とのお話がありました。体験や経験する機会を提供し、スモールステップで、仲間たちと一緒に行くことで“やってみよう”と一歩を踏み出すことができ、達成感や自信につながっていきます。

過去には、スキーをずっとやりたかったけれど機会がなく、高校生になって初めて挑戦することができたメンバーや、本人も保護者の方もできると思っていなかったけど、みんなで交通公園に行ったら自転車に乗れたメンバーもいます。日々の活動の中でも、みんなの前での発表や調理活動での係決め等、学校の大きな集団の中では

発言できないメンバーたちも、定員10名の小集団、4~5名のスタッフの中では、自ら進んで手を挙げることができ、いきいきとした表情がみられています。

また、昨年は隣接するアフタースクールポップクラブのメンバーとも、西公園で鬼ごっこやドッチビーをやったり、夏祭りや冬祭りで一緒に活動を行ったりもしています。

コロナ禍、外出活動や調理活動等制限があり、コロナ禍前にできていたことができないこともあります。今後も一人ひとりの経験や体験を積み重ねていけるよう、子どもたちの『きぼう』が叶えられるよう、『みらい』につながる支援をしていきます。

ウクライナ緊急支援募金のご報告

3月中旬から4月24日まで仙台YMCAで行われた「ウクライナ緊急支援募金」は、YMCA職員、各施設のメンバーや保護者の皆様、維持会員の皆様、関連企業の皆様などから、総額523,478円の募金をお預かりすることができました。

皆様のご協力に、心より感謝申し上げます。

お預かりした募金全額を4月28日付で日本YMCA同盟宛てに送金いたしましたことを、ここにご報告申し上げます。

紛争の長期化が予想されており、まだまだ様々な支援が必要とされています。日本YMCA同盟では引き続き8月31日まで「ウクライナ緊急支援募金」を行っています。

<http://srv.asp-bridge.net/yymca/privacy/7>

この度はご協力とご支援ありがとうございました。



(報告：本部事務局 小幡忠弘)



総額523,478円



「Hello！」 アビさんと英語であそぼう！

YMCA幼稚園では、2021年度から専門学校スタッフのインドロ・アビゲイル・ロレン・ハビエルさん（通称：アビさん）に月に一度来てもらい、英語に触れる時間を設けています。

「Hello～！」という元気な挨拶から始まり、歌にダンスにゲームなど...難しいものはなく、簡単な遊びの中で英語を楽しんだり、異文化に触れたりしています。明るく優しいアビさんはいつも子どもたちに大人気で、「今度の月曜日は、アビさんが来てくれるよ」と伝えると子どもたちは大喜びです。

特に印象的だったのは、自分の名前を英語で書いてみようという活動と英語の塗り絵です。英語で書いてみようでは、ローマ字で自分の名前が書いてあり、その線をなぞります。初めは「なんてかいてあるの？」「えいご...？」と頭にはてなマーク

をつけていた子どもたちでしたが、書いていくうちに「これってA（えー）だ」「あたらしいなまえのかきかた！カッコいい！」とアルファベットを覚えようとする姿が見られ、お迎えの際には「アビさんにえいごおしえてもらったんだよ！」と嬉しそうに話す子どもも多かったです。

英語の塗り絵では、英語で色を書いてあり、当てはめながら塗っていきます。文字だけでは難しいので、「これはグリーン。緑だよ。」と伝えながら行っていました。すると最初は「みどり、あお、あか...」と呟いていた子どもたちがアビさんの英語を聞いて、いつの間にか「ぐりーん、ぶるー、れっど...」と英語で呟きながら色を塗っていました。

また、自分の好きな色は英語で何というのかを自分から尋ねる子どももいました。座って英語を覚えるなどではなく、体を動かしたり歌ったりと楽しみながら行うため、子どもたちも英語を身近に感じられ、自然と英語を覚えている姿がとても印象に残っています。アビさんいつも楽しい時間をありがとうございます。今年度も一緒に英語や異文化に触れていくのが楽しみです。

（幼稚園 鈴木 夢留）

YMCAと私

西山児童館

雨にもまけず。
風にもまけず。
雪にも夏の暑さにもまけぬ。
丈夫なからだをもち、
毎日、西山児童館へ、
我が息子たち（小6、小2）は行く。
これが我が家の生活スタイルです。
西山児童館では、
心のこもったリーダーたちに見守られ、
たくさんの仲間が集う。
時には喧嘩し、
時には褒められ、
喜怒哀楽を楽しむ。
西山児童館で幼少期を過ごし、
心優しく、

たくましく、
人間味あふれる育ちを構築できていると日々感じています。
きっと児童館に来ていない子より、豊かになっていると信じています。
リーダーたちは、家族と同じなのです。
学校の担任は年毎に代わるが、リーダーたちは同じ顔触れ。
息子たちの不安や悩みの相談にのり、常に寄り添ってくれる。
リーダーたちに感謝です。
きっと大人になっても忘れない、そんな最高の児童館だと思います。
保護者の立場から西山児童館の

リーダーたちで本当に良かった。
そう、感謝する日々です。
ありがとうございます。
次男が小学校を卒業するまで、リーダーたちに包まれ卒業を願って。



西山児童館
保護者：田中 真希子 さん

クラブのCS活動の一環として、今回、伊勢さんより『保育園や児童館の子どもたちが美術展に出品された作品に直に触れあう機会が設けられないか。』と提案がありました。そこで、昨年末、せんだいメディアテークで開催された新現美術協会展に出品された作品（ダンボール&ペーパークラフト3点）を譲り受け、子どもたちが自由に触れるようにしました。快く譲っていただいた作者には感謝申し上げます。

4月27日に富沢児童館に運びこんだのは1番大きい「カバの逆立ち」です。他の2点は翌日、伊勢さんが南大野田保育園と西中田保育園に運んで展示してきました。後日、3作品を順次展示していきたいと考えております。

児童館のホールで組み立てをしていると子どもたちは何だろうと作品の周りに集まってきて、その大きさに驚きながらも恐る恐る触ってきました。鼻の穴に指を突っ込んだり、中にはカバの顔部分にまたがる子どももいましたが、この作品は眺めるのではなく、子どもたちが色を塗ったり、紙等を貼ったりと直に触れ合える良い機会です。壊れるのを心配せず大いに楽しんでくれればと思います。

(仙台広瀬川ワイズメンズクラブ 門脇 秀知)

カバの逆立ち



2021年度仙台YMCA大会を行います

< 予定 >

日時：2022年**6月25日**(土)
14:00-15:30

場所：立町会館4階ホール

【次第】 第一部 開会礼拝
第二部 会員総会
第三部 ウクライナ支援報告等



維持会費

皆様のお支えに、心より感謝申し上げます

◆一般会員

維持会員A 佐藤 悦子 さん

(4月16日～5月15日)



一般会員・サポート会員を
随時募集中です

ぜひ会員として、

仙台YMCAの活動をお支えください
お問い合わせ：本部事務局

TEL:022-222-7634

FAX:022-222-2952

仙台YMCAの使命

私たち仙台YMCAは、イエス・キリストによって示された愛と奉仕の生き方に学びつつ、青少年の全人的成長を願い、このわざを東北の地に広げるための活動を行います。

共に生きる社会をめざします。

私たちは、すべての人が喜びと痛みを分かち合う、豊かな愛と希望に満ちた社会の実現に努めます。

喜びのある生き方をすすめます。

私たちは、すべての人が、生涯にわたる学びと交わりをとおし、共に成長できる生き方をすすめます。

世界平和の実現に努めます。

私たちは、歴史をふりかえり、一人ひとりの人権とすべてのいのちが尊ばれる世界の実現に努めます。

地球環境を大切にします。

私たちは、地球環境を守り、自然と人との共存をめざします。

ボランティアの働きを地域社会に拡げます。

私たちは、人と人とのかかわりを豊かに育み、隣人に仕えあう喜びの輪を拡げます。

子どもたちの生きる力を育てます。

私たちは、子どもたち一人ひとりの個性を尊重し、子どもたちが自発性に富み、自立心豊かでたくましい人間に育つよう支援します。